

第100回施政方針質疑一覧表

6. 3. 4

順位	氏 名	大 項 目	小 項 目 (要 旨)	答 弁
1	藤原哲也 【一問一答】	はじめに	予期せぬ自然災害、予測困難な社会の到来に際し、『市民の皆様命や安全を守り、心豊かに安心して暮らし続けられるまちを築いていかなければならない』と決意を新たにいたしました。(P. 1)とあるが、市民の命と財産を守るための減災対策は。	市長
		令和6年度 予算と主な 取組	防災対策では、近年増加している集中豪雨などに備えるため、流域治水の考え方に基つき、地域での事前防災行動も含めたハード・ソフト一体的な浸水対策を推進(P. 11)とあるが、どのように進めていくのか。	
		市政運営の 基本姿勢と 重点施策	『質の高い教育環境と学びのDXの推進』昨年度、黒田庄地区をモデル校区として文部科学省に採択された「リーディングDXスクール事業」では、得られた成果の横展開(P. 5) ①実践研究発表での教員のアンケート等の成果は。 ②今後の進め方、スケジュール等具体的な計画は。 ③DX事業を横展開する上で課題は。	教育長
2	村岡栄紀 【一問一答】	令和6年度 予算と主な 取組	「学校教育」では、本年度、5年ぶりにレントン市との中学生親善交流を再開します。英検費用の助成などと合わせて、英語を学びたいという意欲向上につなげていくとともに、全ての学習の基盤となる読解力の向上にも取り組みます。(P. 10) ①先行き不透明で将来予測が困難なVUCAの時代の中、レントン市との中学生親善交流において、子どもたちに、どういった経験や力を身につけてもらいたいのか。 ②本市の子どもたちの「英語力」向上に関するこれまでの取組内容と成果、課題は。 ③本市の子どもたちが英語への関心・意欲・態度や、学習活動を通じて「話す」「聞く」「書く」「読む」力をしっかりと身に付けるためには何が必要で、今後どういった取組を行うのか。 ④本市の子どもたちの全ての学習の基盤となる「読解力」向上に関するこれまでの取組内容と成果、課題は。 ⑤「読解力」を高めるためには何が必要であり、今後どういった取組を行うのか。	市長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
3	浅田康子 【一問一答】	基本的な認識	『交流の起爆剤となる交通ネットワークの強化』 令和7年に東播磨道、令和8年春には国道175号西脇北バイパスの開通が予定されており、東播磨地域からのアクセス性も向上します。大阪・神戸などの都市部からのアクセス性と、豊かな自然や地域資源を有する本市にとって、都市部との関係性の強化、地域の魅力発信の好機となります。(P. 3) 都市部からのアクセスも良くなり、交通量も増えることが予測される。西脇市にどのような効果が見込まれるのか。	市長
		市政運営の基本姿勢と重点施策	『こどもまんなか社会の推進』 子育て経験のある配達員が見守りなどを兼ねて育児用品をお届けする「はぴいく定期便」を新たに実施します。(P. 4) とあるが、はぴいく定期便事業の目的と効果は。	
			『人口減少を見据えた新たな都市スタイルへ』 人口減少が進行する中、市全体で都市機能の維持を目指すコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりに取り組みます。(P. 6) とあるが、人口減少に伴い、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりと市街化調整区域による土地の利用の在り方についての考えは。	
			『持続可能な開発目標・SDGsの推進』(P. 8) 無意識の思い込みの気づきへの取組、地域での女性役員選出に向けた啓発、女性リーダー養成講座、ミモザ企業への認定に向けた啓発など継続されている事業を、令和6年度はどのように充実していくのか。	
令和6年度予算と主な取組	若手デザイナーや学生など幅広い参画を得ながら播州織オリジナルデザインを開発し、魅力発信に活用していきます。(P. 12) ①播州織オリジナルデザインの開発を令和6年度にする必要は何か。 ②魅力発信につながる製品とは。また、活用する機会。			

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
4	東野敏弘 【一問一答】	基本的な認識	<p>『大都市への人口集中の再加速』 本市の人口は2040年に3万人を下回ると見込まれており、人口減少・少子化の抑制とともに、人口減少を前提としたまちづくりが課題となります。(P. 2)とあるが、人口減少・少子化の抑制を精力的に行うことによって、2040年時点の人口をどの程度と見込んでいるのか。</p> <p>『交流の起爆剤となる交通ネットワークの強化』 JR加古川線の維持・確保については、県、丹波市と連携して利用促進に取り組んでいるところですが、何よりも地域の熱意が必要となります。(P. 3)とあるが、地域の熱意とは具体的にどのようなことを考えているのか。</p>	答弁 市長
		市政運営の基本姿勢と重点施策	<p>『質の高い教育環境と学びのDXの推進』 未来を創造していく子どもたちへの投資、つまり子どもたちの可能性を広げる、学びの環境を整えていくことが重要と考えます。(P. 5)とあるが、西脇市内の小中学校の校舎・プール・体育館等の現状をどう捉えているのか。 今、学んでいる子どもたちの教育環境を整えることが大切だといわれているが、どう考えているのか。</p>	
		令和6年度予算と主な取組	<p>『地域共生社会』の実現に向けて 本人や家族の孤立感を軽減し、地域で安心して社会とつながる第一歩となるよう、引き続き、外出しづらい状態にある方の居場所の周知と家族学習会に取り組みます。(P. 10)とあるが、市行政として具体的にどのような取組をされる予定か。</p>	
5	藤原桂造 【一問一答】	令和6年度予算と主な取組	<p>①「産業振興」において、これまで本市においてはこういった商品の開発や事業の立ち上げ、人材確保の取組などを進める事業者を支援してきたのか。また、令和6年度における新商品開発などに取り組む事業者への支援はどのようなものか。</p>	市長
			<p>②幅広い参画を得ながら播州織オリジナルデザインを開発するということだが、たくさんの方の才能を發揮する上で必要となってくる「幅広い参画」を得るために、どういった方法を考えているのか。</p>	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>③播州織オリジナルデザインは、他にはない差別化になる。あくまでも播州織は縦糸と横糸の組み合わせによりチェック柄やストライプ柄が多いと考えるが、もっと自由な発想でそれ以外のデザインであっても採用されるのか。</p> <p>④播州織オリジナルデザインについて、魅力発信に活用するとあるが、開発したデザインは市内事業者などの利用も考えているのか。</p>	市長
6	森脇久夫 【一問一答】	市政運営の基本姿勢と重点施策	<p>『人口減少を見据えた新たな都市スタイルへ』 人口減少が進行する中、市全体で都市機能の維持を目指すコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりに取り組みます。 (P. 6) とあるが、「立地適正化計画」は市中心部を対象としているが、コンパクト・プラス・ネットワーク推進において、ネットワークに位置付けられているエリア並びに立地適正化計画の対象外のエリアの具体的な取組は。</p> <p>『持続可能な開発目標・SDGsの推進』 デジタル技術を活用し、疾病の早期発見・重症化予防にも取り組みます。(P. 8) とあるが、具体的には、どのような健診などを計画しているのか。</p> <p>『万博を契機とした交流の促進』 鉄道と組み合わせた観光プログラムの提供や鉄道を利用した観光客への助成(P. 7) とあるが、鉄道と組み合わせた観光プログラムや助成の具体的な内容は。</p> <p>『持続可能な開発目標・SDGsの推進』 森林保全や森・木材に親しむ機会づくり(P. 9) とあるが、具体的にはどのような取組を計画しているのか。</p>	市長
7	杉本佳隆 【一問一答】	市政運営の基本姿勢と重点施策	<p>『こどもまんなか社会の推進』 子育て経験のある配達員が見守りなどを兼ねて育児用品をお届けする「はぴいく定期便」について(P. 4) ①はぴいく定期便のオムツの配布の対象年齢は生後5か月から1歳までの8回と定めた根拠は。 ②子育て経験のある配達員とは。</p>	市長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>『人口減少を見据えた新たな都市スタイルへ』</p> <p>市街化調整区域などでより人口減少が進んでいる。人口減少を背景とした開発圧力の低下、新たな産業用地の確保が難しい現状、本市にふさわしい新しい土地利用の在り方の検討。今後数年間で広域的なネットワークの強化について。(P. 6)</p> <p>①広域的な交通ネットワークの計画とは。</p> <p>②アクセスが良くなると人口減少の観点からの効果は。</p> <p>③地理的な特性も踏まえた新たな産業用地の開発は。</p>	市長
8	林 晴信 【一問一答】	市政運営の基本姿勢と重点施策	<p>『こどもまんなか社会の推進』(P. 4)</p> <p>少子化の歯止めとして子育て世帯への経済支援や若者の所得向上が有効と認識されているようだが、西脇市において若者の所得向上に対して市長は今すぐに何ができる。あるいは行おうと考えているのか。</p>	市長
		令和6年度予算と主な取組	<p>学校給食の食材費の高騰分を引き続き公費で負担する(P. 10)とあるが、加西市では昨年、加東市が来年度から学校給食費の無償化を打ち出しているの、市民はどんな目で西脇市を見るだろうか。現時点での市長の率直な思いを聞く。</p>	
9	高瀬弘行 【一問一答】	基本的な認識	<p>『交流の起爆剤となる交通ネットワークの強化』</p> <p>豊かな自然や地域資源を有する本市にとって、都市部との関係性の強化、地域の魅力発信の好機(P. 3)とあるが、具体的にはどのような施策に結びつくような構想を持っているのか。</p>	市長
		市政運営の基本姿勢と重点施策	<p>『こどもまんなか社会の推進』</p> <p>本年度はこども計画の策定、こどもや子育て世帯に寄り添った施策を展開しますとし、身近で気軽に相談できる環境づくりを進めますとある。(P. 4)そこで、「ワンオペ育児」などで悩む子育て世帯に対応する従来からの施策に加えて、新たな具体的な施策は。また、子育てなどで悩む当事者にその施策をどのように周知するのか。</p>	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			『質の高い教育環境と学びのDXの推進』 学びの質の向上(P.5)とあるが、質の高い教育とは、具体的に何を目標しているのか。また「学びの質の向上」「質の高い教育」と、従来から目標にされていた「全国のトップクラスを目指す、基礎学力の向上」との関係を問う。(R3以降は「全国トップレベルを目指す、基礎学力の向上」との指標がなくなったのはなぜか。)また、これまでは「教師の質の向上」を課題にしていたが、「教師の質」に関しては一定のレベルに達したとの認識なのか問う。(今回は課題としての記載がないため)	答弁 市長
10	村井正信 【一問一答】	市政運営の 基本姿勢と 重点施策	『質の高い教育環境と学びのDXの推進』 未来を創造していく子どもたちへの投資、つまり子どもたちの可能性を広げる、学びの環境を整えていくことが重要(P.5)とあるが、そもそも投資とは、広辞林によると「利益を得る目的で、事業に資金を投下すること」とあり、ここでの「投資」は、教育支出の投資的効果を強調するものと考えられる。子どもにとっては公的支出を「投資」という負担を強いられ、成果を求められることになる。西脇市の教育は、子どもたちに投資的効果を強いるのか。 文部科学省・武藤久慶氏による御講演は「西脇の教育が変わる日」になったと捉えており(P.5)とあるが、「西脇の教育」と言えば「西脇市教育振興基本計画」が考えられるが、どのように変わると想定しているのか。 『持続可能な開発目標・SDGsの推進』 学校・学級への通学が難しい児童生徒を対象に、学校の空き教室等を活用した居場所づくり(P.7~8)とあるが、そもそも学校に行くことができない児童生徒への対応はどのように考えているのか。	市長
		令和6年度 予算と主な 取組	体調不良児への緊急対応など安全・安心な保育環境の充実に向けて、認定こども園による看護師配置を支援します。(P.10)とあるが、特定認可外保育施設には看護師配置を支援しないのか。	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
11	坂部武美 【一問一答】	基本的な認識	『交流の起爆剤となる交通ネットワークの強化』 JR加古川線(西脇市駅～谷川駅)の維持・確保については、県、丹波市と連携して利用促進に取り組んでいるところですが、何よりも地域の熱意が必要になります。(P. 3)とあるが、地域とはどこのことか。また、熱意とはどのような熱意をもって、どのように取り組んでほしいと考えているのか。行政の役割は、その結果が存続につながるのか。	市長
		市政運営の基本姿勢と重点施策	『質の高い教育環境と学びのDXの推進』 学校・地域・家庭と円滑な連携を図りながら、部活動の地域移行やコミュニティ・スクールの協議を進めます。(P. 5)とあるが、市長が考える部活動の地域移行とは、どのような内容で、どのような方法で進めようと考えているのか。(岡之山ゴルフアベニューや玉木新雌さんを例として出されているが。)	
			『人口減少を見据えた新たな都市スタイルへ』 本市にふさわしい新しい土地利用の在り方を、地域の声をうかがいながら検討します。(P. 6)とあるが、どのような方法で地域の声をうかがい、その声を新しい土地利用にどのように反映させるのか。	
			『持続可能な開発目標・SDGsの推進』 ①学校・学級への通学が難しい児童生徒を対象に、学校の空き教室等を活用した居場所づくりを県と連携して進めていく(P. 7～8)とあるが、空き教室等とはどのような場所か、その空き教室等へどのように誘導し、どのような居場所としていくのか。 ②本年度、兵庫県パートナーシップ制度が創設されることに伴い、本市においても、同性カップルなどが抱える日常生活の困りごとや不安の解消につなげるため、県と連携しながら、誰もが安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいきます。(P. 8)とあるが、いつまでに、どのように制度化し、どのように発信していくのか。	